

2022年3月30日  
SCSK株式会社

## 「倉敷エリアの地域医療 DX 化」に向け 倉敷中央病院と連携する複数病院との実証実験を開始 ～医療 DX で目指す地域医療におけるケアの継続性～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者:谷原 徹、以下 SC SK)は、公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院(岡山県倉敷市、常務理事 院長:山形 専、以下 倉敷中央病院)と、倉敷エリアにおける地域医療連携の効率化に向けた実証実験(以下 本実証実験)を2022年4月より開始いたします。

### 1. 背景

倉敷エリアの高度医療を担う倉敷中央病院とSCSKは、医療従事者の働き方改革・地域医療の効率化のために、医療現場をDX化する取り組み「Dr2GO※」(ドクターツーゴー)プロジェクトを進めております。

医療従事者の働き方改革については、チーム医療におけるコミュニケーションの効率化を実現する仕組みとして「Dr2GO」のコミュニケーション機能を開発し、2020年に提供開始しております。

本実証実験では、地域医療連携の課題である「高度医療を担う病院への患者集中」を解決するため、倉敷中央病院と連携する複数病院に「Dr2GO」の地域医療連携機能を導入し、倉敷エリアの地域医療DX化に向けた取り組みを行います。(※ 3. 「Dr2GO」の主な機能参照)

### 2. 本実証実験について

本実証実験では、転院時に複数の地域連携病院と同時に行う転院調整業務に「Dr2GO」を活用し、転院調整業務の効率化と転院調整期間の短縮を目指し2つの取り組みを行います。

なお、実証実験を2022年6月末までに完了し、7月から本番運用を予定しております。

#### (1) 地域医療連携部、メディカル・ソーシャルワーカーの業務効率化

倉敷中央病院の地域医療連携部と協力し、転院調整に関連する地域医療連携部、メディカル・ソーシャルワーカーの業務効率化を目指します。

The diagram illustrates three key business support functions for Dr2GO:

- 転院先を探す (Find Referral Destination):**
  - 1. オンタイムの空き病床状況可視化 (Real-time visualization of vacant bed status)
  - 2. 患者転院(退院)予定を可視化 (Visualization of patient transfer/discharge plans)
  - 3. 転院先候補の検索・提案機能 (Search and proposal function for referral candidates)
- 転院先と調整する (Adjust Referral Destination):**
  - 4. 候補病院との患者別チャット機能 (Patient-specific chat function with candidate hospitals)
- 転院先に伝える (Communicate with Referral Destination):**
  - 5. 紹介状連携機能 (Referral slip linkage function)
  - 6. 診療情報連携機能 (Medical information linkage function)
  - 7. 医用画像連携機能 (Medical image linkage function)

The screenshot shows the Dr2GO interface with a search bar and a table of results. The table columns include: No., 患者情報 (Patient Information), 診療科/病棟/病室 (Department/Room), 診療予定日 (Treatment Date), and 詳細情報 (Detailed Information). The table lists three entries for patient 001, 002, and 003, each with a '詳細を見る' (View Details) button.

## (2) 患者の緊急度に応じた機能病院に送致する転院調整業務の効率化

倉敷中央病院の救命救急センターと協力し、倉敷中央病院で患者の受け入れが困難な場合に、患者の緊急度に応じた機能病院に患者を送致する転院調整業務の効率化を目指します。

地域病院間で「Dr2GO」を転院調整の情報共有やコミュニケーションの基盤として活用いただき、地域病院の設備や病床状況の可視化、患者の疾患・緊急度に応じた転院先候補の提案、複数病院と同時に転院調整する機能の提供など、転院調整業務から地域病院間のコミュニケーションの円滑化を図り、地域医療の質の向上、患者の負担軽減、病床回転率の向上、平均在院日数の短縮、転院調整期間の短縮を目指します。

## 3. 「Dr2GO」の主な機能

### ■ 院内業務の効率化<コミュニケーション機能>

チーム診療への移行により医療現場の働き方改革を実現することを目指し、患者を中心に形成される診療チーム内の情報共有・コミュニケーションを効率化する機能です。患者ごとに作成される患者専用のコミュニケーションルームで、入院患者の診療情報を見ながら効率的なテキストコミュニケーションを実現します。



カルテビュー

チャット



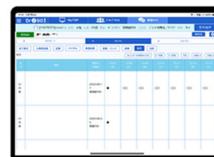
入院時記録・記事



バイタル



検査結果



処方・注射

<表示可能な情報>

- 入院時記録
- 記事(医師記載)
- 看護記録
- バイタル
- 検査結果
- 処方
- 注射
- 食事
- 部屋・ベッド

診療情報は、表示する情報に合わせて準備された、数パターンのテンプレートを使って表示します。

### ■ 地域医療の効率化<地域医療連携機能>

患者の緊急度に合わせて機能病院に患者を送致するため、転院調整時に行う情報共有・コミュニケーションを効率化する機能です。地域病院間の転院調整をスムーズに行うことで、高度医療を担う機能病院への患者集中を緩和し、すべての地域病院が1つの医療機関として患者をケアする仕組みを実現します。

「Dr2GO」 URL : <https://www.scsk.jp/sp/dr2go/>

## 4. 本実証実験後の展望

SCSK は、本実証実験をもとに下記に取り組んで参ります。

### ■ 「Dr2GO」の全国展開

倉敷エリアの地域医療DX化モデルを全国に展開し、「Dr2GO」を活用した地域医療の効率化、また社会課題の解決を目指します。

## SCSKのサステナビリティ経営

SCSKグループは事業を通じた社会課題解決により、社会と共に持続的な成長を図る「サステナビリティ経営」を推進しています。社会が抱えるさまざまな課題の中で、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しており、本サービスは、「いきいきと活躍できる社会の実現」に資するサービスです。

- ・医療従事者の働き方を推進
- ・地域医療の効率化・質の向上

SCSKグループ、経営理念の実践となる7つのマテリアリティを策定:

[https://www.scsk.jp/news/2020/press/management/20200428\\_2.html](https://www.scsk.jp/news/2020/press/management/20200428_2.html)

## 本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

ビジネスデザイングループ

ヘルスケアセンター 営業部 関口、小澤

E-mail: [dr2go-info@ml.scsk.jp](mailto:dr2go-info@ml.scsk.jp)

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

企画本部 広報部 須田

TEL:03-5166-1473

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。